

結露にご注意ください！！

冬季や湿気の多い梅雨になると、壁や窓ガラスに水滴が発生する現象「結露」が起きます。

過去に水漏れではないかという照会が数件あり、状況を調査したところ原因は「結露」であったというケースがありました。

室内の空気が乾燥していれば、結露は発生しませんので、「結露」対策をお知らせします。

□ 具体的には結露は次ぎのようなことを起こす場合があります。

- 1) 部屋の壁、天井、窓、家具、押入れ、浴室が湿ったり、露が流れたりし、やがて黒色または白色のカビが発生してしまいます。
- 2) コンセント、照明器具等の取り付け部分の埋め込みボックス及び電線管内で結露し、絶縁不良等でブレーカーが落ちて、電機が使えなくなる。
- 3) 洋式便器または水洗タンクの表面が結露し、床に水が溜まり、床板が腐る。
- 4) 結露した水が床に溜まり、階下に落ち、他人に思わぬ被害を与えて損害賠償を請求されることがあります。

□ 結露を防止するためには、次のような点にご注意ください。

- 1) 冬季の過剰な暖房器具の使用はやめましょう。(室内温度は 20℃程度)
- 2) 暖房器具は、FF式ストーブ(外気給排気式)、電機ストーブまたはエアコン等を使用し、石油ファンヒーター、ガスストーブは、水蒸気を多量に発生させるので結露に注意しましょう。
- 3) 暖房時は、換気用小窓や、窓の上の換気孔を開けましょう。
- 4) 炊事するときや、瞬間湯沸かし器を使用するときは必ず換気扇を回しましょう。
- 5) 入浴後は、窓を必ず開けましょう。(換気扇がある場合は回しましょう。)
- 6) 外気に面した壁面に家具や衣装を置く場合は、壁から 10~15 cm以上離して置くようにしましょう。
- 7) 押入れや窓などは時々開けて、中の者を点検して、風通しをしましょう。
- 8) 壁などが結露したり、カビの発生を見つけたときは、直ちに丁寧に拭取るようにしましょう。
- 9) 便器などに結露しているときは、雑巾で拭取るようにしましょう。
- 10) 洗濯物はサンルームで干し、室内は避けましょう。